

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずTREE 保育所等訪問		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 15日		～ R7年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2人	(回答者数)	2人
○訪問先施設評価実施期間	R7年 12月 15日		～ R8年 1月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 5か所	(回答者数)	5か所
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供一人一人を見て、園と相談の上親身になって必要な支援をする。	園や保護者様と十分な話し合いをし、必要な支援を行う。必要な園児には月5回の訪問を行う。	園の希望も取り入れ、社会生活に必要な力をつけることができるように支援していく。
2	本児をよりよく理解している職員が訪問している。	行事等で人員が不足していたり、本児の為に行事本番にも参加、協力する。	どの職員でも訪問できるように日々研修に励み、本児と園を助ける支援ができるように取り組む。
3	子供だけでなく、職員同士の困りごとや悩みを聞きアドバイスをしていく。	園長先生、主任、担任の先生とのコミュニケーションを大事にしている。	さらに研修などに参加して質の向上を図る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問人員が不足していて定期的に必要とされる時間帯に訪問できないことがある。	訪問できる職員の配置を十分にする。職員の研修、育成に努める。	訪問できる職員の配置を十分にする。職員の研修、育成に努める。
2	難しいケースではその場で適切な助言、支援が不十分な事がある。	職員の研修、育成に努める。研修に参加するよう奨励していく。	職員の研修、育成。すぐに返答できない時は持ち帰り、職員同士で会議をして話し合い、後日アドバイス等を連絡する。研修に参加するよう奨励し、法人が参加費の一部負担をする。
3			